

あたたかい子
かしこい子
たくましい子

学校だより

つよし

—第19号—

令和3年9月6日
平戸市立津吉小学校
文責 校長 田川定司

緊急事態宣言が出されました

長崎県独自の「緊急事態宣言」が出され、学校でも更なる緊張感を持って感染拡大防止に取り組んでいるところです。学校では9月1日に『保健だより』を通じて、校内の感染対策や家庭へのお願いについてお知らせしていましたが、平戸市内においても感染拡大が見られることから、本日、改めて「学校における新型コロナウイルス感染症対策について」を発出し、重ねてお願いしているところです。また、感染防止の観点から、下記の通り学校行事やPTA行事を変更しています。

| 行事 | 期日 | 開催 | 対策 |
|------------|-------------------|----|---|
| PTA 環境整備 | 8月31日(火) | 中止 | 8月31日に、教職員全員で環境整備実施 |
| 授業参観・学級懇談会 | 9月7日(火) | 中止 | オープンスクール・夏休み作品展は実施 |
| 修学旅行 | 9月9日(木) 10日(金) | 延期 | 3校の校長・PTA会長・6年委員長で対応を検討。10月14日・15日に実施予定 |
| 小陸競 | 10月7日(木) | 中止 | 市校長会・市教委の話し合いで決定 津吉小独自の陸上記録会開催を検討中 |

さて、この夏は新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大し、暗い影を落としています。先の見通せない世の中の中、病気に対する不安も広がり、病気に対する差別や風評の広がりが懸念されるようになってきました。「コロナ」という見えない敵と闘う中で、「コロナ」という病気を相手にしているはずなのに、病気になった人を仲間外れにしたり、いじめたりしてしまうことが、子供ではなく大人の中で起こってきました。見えない敵である「コロナ」という病気には怖さを感じますが、新型コロナウイルス感染によるいじめや差別、風評の広がりをなくすよう心を広げ、感染症をみんなの力で乗り越えていきたいと思えます。



津吉小学校では、「あたたかい子」の育成を目指す児童像に据え、ご家族や地域の皆様の温かい愛情の中、心豊かで思いやりのある子供たちに育てています。仲間を大切にできる子供たちです。病気になって苦しい思いをしている仲間がいたら、みんなで見守り応援し、治ったら温かく迎えて上げるように話をしています。

文部科学省から「保護者や地域の皆様へ」と題し、裏面のようなメッセージが昨年度出されました。改めて、ご一読いただければ幸いです。

保護者や地域の皆様へ

学校において、児童生徒等の学びを確保するための取組を進めることができているのは、保護者や地域の皆様に感染症対策の取組に御理解と御協力を賜っているからであり、心より感謝申し上げます。

しかし、このような取組を徹底しても学校や家庭、社会において感染するリスクをゼロにすることはできません。誰もが感染する可能性があります。その上、新型コロナウイルス感染症には未だ解明されていない点があり、ワクチンも開発中であることから、この感染症に対する不安をお持ちの方が多くと思います。

私たちは、この感染症と、この感染症がもたらした社会の変化に対して、現時点での科学的な知見や見解に基づいて、正しく向き合うことが必要です。私からは、保護者や地域の皆様に次の二点をお願いいたします。

第一に、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さないということです。

誰もが感染する可能性があるのですから、感染した児童生徒等や教職員、学校の対応を責めるのではなく、衛生管理を徹底し、更なる感染を防ぐことが大切です。そして、自分が差別等を行わないことだけでなく、「感染した個人や学校を特定して非難する」「感染者と同じ職場の人や、医療従事者などの家族が感染しているのではないかと疑い悪口を言う」など身の周りに差別等につながる発言や行動があったときには、それに同調せず、「そんなことはやめよう」と声をあげていただきたい。人々の優しさはウイルスとの闘いの強い武器になります。

感染を責める雰囲気広がると、医療機関での受診が遅れたり、感染を隠したりすることにもつながりかねず、結局は地域での感染の拡大にもつながり得ます。その点からも差別等を防ぐことは必要なことです。

第二に、学校における感染症対策と教育活動の両立に対する御理解と御協力です。

感染症への対応が長期にわたることが想定される中、学校では、感染症対策を講じつつ学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進め、子供たちの健やかな学びを最大限保障するための取組を進めていただいているところです。また、大学についても、感染症対策の徹底と、対面による授業の検討も含めた学修機会の確保の両立をお願いしております。

これからの予測困難な時代を生きていく児童生徒や学生が、必要となる力を身に付けて等いことができるよう、学校の教育活動の継続への御理解と御協力をお願いいたします。

新型コロナウイルスのみならず、感染症へ正しく対応するためには、最新の科学的な知見等を知ることが不可欠です。政府として、分かりやすい広報に努めているところですが、保護者や地域の皆様におかれても科学的な知見等を日々の生活に活かしていただきたいと思います。

令和二年八月

文部科学大臣 萩生田光一